

研究課題番号	5RF-2006
研究課題名	タイヤ粉塵由来マイクロプラスチックの時空間分布特性及び交通流の影響 解明
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	東京都立大学
研究代表者名	酒井 宏治

1. 委員の指摘及び提言概要

わが国では数少ないタイヤ由来のMP（マイクロプラスチック）研究であり、成果に期待したい。多様な車種や道路の舗装状態など対象パラメータは多いが、将来のMP管理につながる各種インベントリーのデータ蓄積に期待する。実際の道路近傍での調査も重要であるが、テストコースのような管理された条件下での測定も重要と考える。中間評価時までの分析試料数が少なく、統計的な有意性に不安がある。説得力のある結論を導くためにはサンプル数や測定回数をもっと増やすことが望まれる。短時間分析法の検討も必要かと思う。海洋プラの削減の観点からは、より大局的な意見交換も必要ではないか。将来的にどのような環境改善に結び付けるのかという展望をぜひ研究者自身で持っておいていただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A